



## 1 砥鹿神社



### ●砥鹿神社

大己貴命(おおなむちのみこと)をまつる砥鹿神社は、平安時代初めころから三河国の筆頭格の神社とされています。今も家運隆昌、交通安全、厄難消除を願い、多くの参拝客を迎えています。古い記録には「三河国一宮」との記述があり、一宮町の名前の由来にもなっています。本宮山の山頂には奥宮があります。

●有り



## ●例大祭 春

5月3～5日に行われる例大祭は、神事や祭事が行われるほか、植木市や露店が軒を並べ、多くの人でにぎわいます。

なかでも3・4日に行う流鏝馬は有名で、武者姿の少年たちが右手には鞭、左手には五色の布引をなびかせながら、手離して境内を疾走するという勇壮な神事です。少年の雄姿に観衆からは盛大な拍手が送られ、例大祭のメイン行事となっています。



## 3 五社稲荷社



### ●五社稲荷社

江戸時代(1830年)に伏見稲荷の分身として勧請し、五社稲荷社となりました。五柱の神がまつられています。毎月1日、15日の月次祭(つきなみさい)には露店や地元農産物の朝市が開かれ、多くの参拝客でにぎわいます。

●有り



## 4 うたりじんじゃ 菟足神社



### ●菟足神社

7世紀の後半にこの地に移されたといわれ、菟上足尼命(うなかみのすくねのみこと)をまつています。国の重要文化財に指定されている平安時代の大般若経や県指定有形文化財の梵鐘、祭礼古面など多くの文化財が保管されています。

●有り

## ●風祭り 春

この祭りは神社の例大祭で、盛大な花火の奉納で知られています。昼には打上げ花火、夜には手筒・大筒花火をはじめ、仕掛け花火や打上げ花火が夜空に舞います。また、各地区の山車曳きや獅子舞、笛踊り、稚児舞なども行われます。



## ●田祭り 冬

田ならしから実りまでの稲作の経過を身振りや歌で演じ、その年の豊作を祈願する神事です。県の無形民俗文化財に指定されており、毎年旧暦の正月7日に行われます。

